

遠隔設定ツール Ver.2

GXGP 遠隔設定ツール

操作説明書

# 目 次

1. はじめに	1
2. ソフトウェアの概要	2
3. 動作環境	3
4. セットアップ	4
5. 起動及び機器接続	5
6. ソフトウェアの複数起動	7
7. 接続後の画面表示	8
8. アラーム設定	9
8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定	10
8. 2 アラーム On/Off の設定	12
8. 3 CSV 出力	14
9. 記録開始	15
10. 記録停止	16
11. メッセージ	17
12. フリーメッセージ	18
13. バッチ	19
14. 表示セーブ・イベントセーブ	20
15. 時刻設定	21
16. SNTP 時刻調整	21
17. パスワード変更	22
18. イメージ保存	22
19. 最新に更新	23
20. 自動更新	23
21. システム情報	23

22. WEB 表示	24
23. FTP 表示	25
24. バージョン情報	26

遠隔設定ツール Ver.2

GXGP 遠隔設定ツール操作説明書

第一版：平成27年2月：Virsion 2.0.0.3

第二版：平成28年7月：Virsion 2.0.0.6

## 1. はじめに

GXGP 遠隔設定ツール（以下、本ソフトウェア）は、横河電機株のペーパーレスレコーダ SMARTDAC+ シリーズ GX・GP（以下、GXGP）の拡張セキュリティ機能（/AS オプション付き）の記録開始・停止・アラーム設定・メッセージ入力・バッチ情報入力・スナップショット表示・時刻設定・パスワード変更等を、ネットワーク接続されているPCから行えるソフトウェアです。これらの機能により、操作パネルを操作することなく、また記録を停止することなく、遠隔でアラーム設定を行うことが可能です。

### ●注意事項

本ソフトウェアをご利用頂く場合、以下の点にご注意下さい。

- ①本ソフトウェアは著作権法上の著作物としての取り扱いを受けますので、当社に無断で複製することはできません。
- ②当社では、本ソフトウェアを使用した結果、又は本ソフトウェアの使用に起因する結果によって発生する影響に関しては、一切の責任を負わないものとします。
- ③パッケージ開封の際にご同意頂きました「ソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を再度ご確認ください。

## 2. ソフトウェアの概要

GXGP 遠隔設定ツールは、ネットワーク接続されている GXGP に対して、以下の設定が行えます。

- 機器接続           IPアドレス、ユーザー名、ユーザーID、パスワードを入力して接続します。
- アラーム設定       GXGP のアラームを設定し、送信・受信します。
- 記録開始           GXGP の記録（メモリ・演算）を開始します。
- 記録停止           GXGP の記録（メモリ・演算）を停止します。
- メッセージ         GXGP へのメッセージ設定、及び選択したメッセージを書き込みます。
- フリーメッセージ   GXGP へフリーメッセージを書き込みます。
- バッチ             バッチ番号・ロット番号・バッチコメントを登録します。
- スナップショット   GXGP のスナップショットを表示します。  
15 秒毎の自動更新、F 5 キーによる手動更新が行えます。
- 表示セーブ・イベントセーブ  
記録中のデータを記憶メディアにセーブします。ファイルが区切られます。
- 時刻設定           GXGP へ時刻を設定します。
- SNTP 時刻調整     GXGP に設定されている SNTP サーバーに対して時刻調整を行います。
- パスワード変更    GXGP のパスワードを変更します。
- イメージ保存       画面イメージを保存します。（拡張子 PNG）
- システム情報       接続した機器の情報を取得し表示します。
- WEB 表示           GXGP を WEB ブラウザで表示します。
- FTP 表示           GXGP の記憶メディアの内容を表示します。

各操作は、接続した機器に対してのみ行えます。複数台の GXGP に対して設定する場合は、機器接続で別の機器に接続して各操作を行って下さい。また、本ソフトウェアは複数起動が可能です。起動したソフトウェア毎に、異なる機器に接続して表示・設定することができます。

通信で接続するため、ユーザー登録のモードを「通信」又は「タッチ操作+通信」に設定したユーザーでログインして下さい。ユーザーレベルが「User」で接続した場合、ユーザー毎に設定されている操作権限により、操作できない機能があります。ユーザーレベルが「Monitor」で接続した場合、操作できない機能があります。その他 GXGP の設定により、操作できない機能があります。

その他の設定は、本体機器及び SMARTDAC+STANDARD にて行って下さい。

本体機器及び SMARTDAC+STANDARD の操作は、各マニュアルを参照して下さい。

### 3. 動作環境

- OS WindowsXP/Vista/7/8/8.1 (32bit/64bit)
- メモリ 512MB 以上 (OSにより、快適に動作する容量を搭載して下さい。)
- ハードディスク 本ソフトウェアはアラーム設定情報のCSVファイル出力を行います。プログラム自体は、2MB程度の容量があれば動作します。但し、OSが快適に動作する為に、ある程度空き容量が必要です。
- インターフェース GXGPとの接続はEthernetのみです。GXGPとPCとの間で、ネットワーク接続ができるようIPアドレス・サブネットマスク等の設定を行って下さい。また、ファイアーウォール・ウィルス監視ソフトを使用される場合は、本ソフトウェアがブロックされないよう設定して下さい。
- CDドライブ 本ソフトウェアのインストール用に必要です。
- ディスプレイ 1024×768ドット以上。
- 対象測定機器 SMARTDAC+GX/GPシリーズ (拡張セキュリティ機能/AS オプション付き) 同時に接続・設定できるのは、1台のみです。但し、ソフトウェアは同時に複数起動が可能です。

## 4. セットアップ

GXGP 遠隔設定ツールのセットアップは、次の手順で行います。  
CD タイトルは 遠隔設定ツール です。

1. パソコンを起動します。
2. 遠隔設定ツールのCDをセットします。
3. 自動的にセットアップが始まります。  
始まらない場合は、CDの **Setup.exe** をダブルクリックして下さい。  
セットアップ画面が表示されます。  
以降は、画面の指示に従ってセットアップして下さい。

セットアップ先のデフォルトは「C : ¥Program Files¥遠隔設定ツール Ver.2」です。

セットアップ終了後は、スタートメニューに「GXGP 遠隔設定ツール」のアイコンが登録されます。プログラム自体は、指定したフォルダに保存されます。

### 4. アンインストール

アンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムの追加と削除で行って下さい。

### 5. GXGP 遠隔設定ツールのファイル

インストールされるファイルは以下の通りです。

●GxGpCom.exe	GXGP 用プログラム実行ファイル
●GXGP 遠隔設定ツール操作説明書.pdf	GXGP 用操作説明書
●uninst.isu	アンインストール情報ファイル

本ソフトウェアは、**GxGpCom.exe** を起動するだけで実行可能であり、他のサブプログラム等の付随的なファイルを必要としません。

また、本ソフトウェアを動作することにより作成・変更されるレジストリはありません。

## 5. 起動及び機器接続

GXGP 遠隔設定ツールは、セットアップで登録されたスタートメニューから起動します。  
又は、CDからセットアップせずに、CDの GxGpCom.exe をダブルクリックすることでも起動できます。



アイコン



起動すると、GXGP に接続するための機器接続画面が表示されます。  
接続する GXGP の IP アドレス/ユーザー名/ユーザー ID/パスワードを入力して OK ボタンをクリックして下さい。

機器接続ボタン又は接続メニューの「機器接続」を選択した場合も、機器接続画面が表示されます。  
各操作終了後、別の GXGP に接続する場合は、機器接続ボタンをクリックして該当する GXGP に接続して下さい。

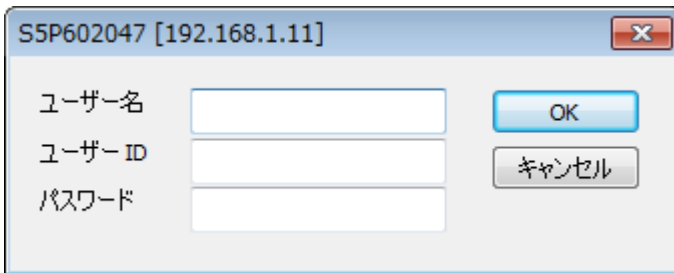


※GXGP は、指定した回数連続で間違えると、そのユーザー名ではログインできなくなります。

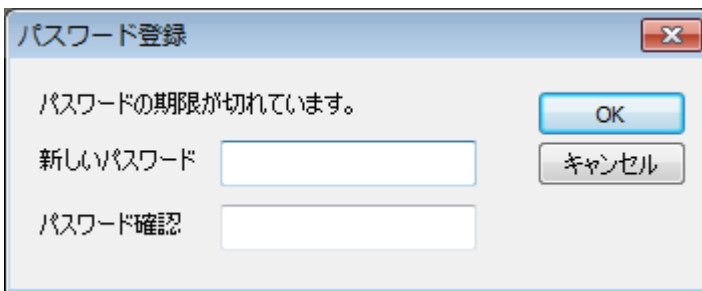
GXGP の設定で、ユーザー ID 無しに設定されている場合は、ユーザー ID の入力はありません。

※3分間何も操作しないと、自動的にログアウトされます。

3分経過してから次の操作を行おうとした場合、下記画面が表示されますので、ユーザー名／ユーザー ID／パスワードを入力して下さい。タイトルバーには接続していた IP アドレスが表示されています。



※パスワードの有効期限が切れていると、パスワード登録画面が表示されますので、新たにパスワードを登録して下さい。



※ユーザーレベル「Monitor」で接続すると権限が無いため、アラーム設定の送信時にエラーとなります。

※選択した機能の権限が無いユーザーレベル「User」で接続すると、設定送信時にエラーとなります。

## 6. ソフトウェアの複数起動

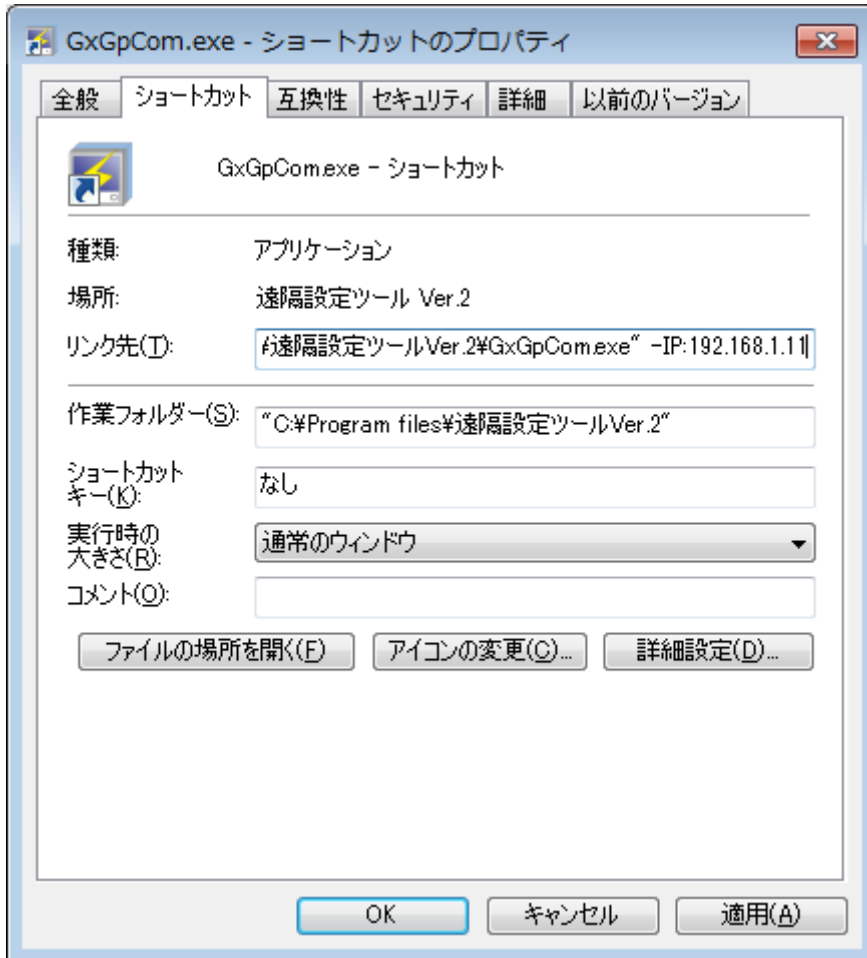
本ソフトウェアは複数起動が可能です。

ショートカットから機器の台数分ソフトウェアを起動し、それぞれ別々の GXGP に接続できます。

また、ショートカットの引数に機器の IP アドレスを指定すると、ソフトウェア起動時に IP アドレスが入力された機器接続画面が表示されますので、IP アドレスの入力を省くことができます。

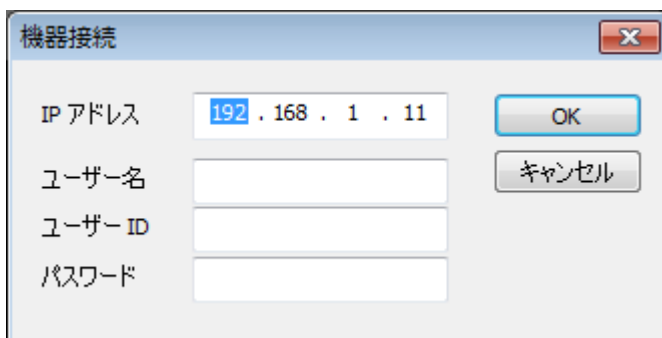
ショートカットのプロパティでリンク先の末尾に、-IP: の後に IP アドレスを指定して下さい。

-IP の前は 1 スペース空けて下さい。



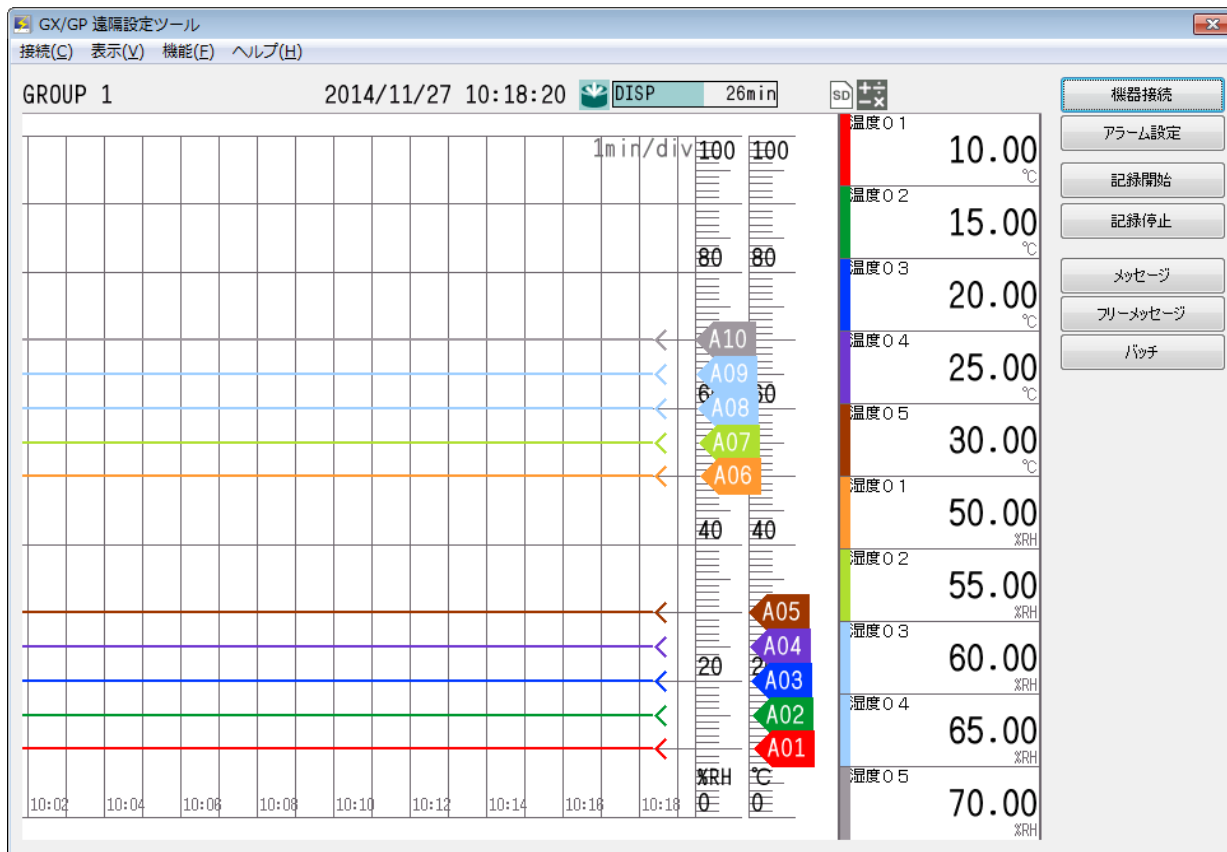
上記のショートカットから起動すると、IP アドレスが入力された状態の機器接続画面が表示されます。

必要な台数分のショートカットを作成して下さい。



## 7. 接続後の画面表示

GXGP に接続されると、その時点のスナップショットを表示します。



この画面の各ボタンをクリックするか、メニューから選択して以降の各操作を行います。

※各操作は、Admin 又は各機能の操作権限を持つ User でないと設定送信できません。

### ●メニュー

接続	表示	機能	ヘルプ
機器接続※	最新に更新(F5)	記録開始※	バージョン情報
終了	自動更新	記録停止※	
	システム情報	表示セーブ	
	WEB表示	イベントセーブ	
	FTP表示	アラーム設定※	
		メッセージ※	
		フリーメッセージ※	
		バッチ※	
		時刻設定	
		SNTTP時刻調整	
		パスワード変更	
		イメージ保存	

※は、画面のボタンと同機能です。

## 8. アラーム設定

メイン画面のアラーム設定ボタンをクリックすると、GXGP からアラーム設定情報を受信して一覧表示します。機能メニューの「アラーム設定」も同機能です。

表示されるのは、有効チャンネルのみです。入力チャンネルの SKIP チャンネル・演算チャンネルの未使用チャンネル・通信入力チャンネルの未使用チャンネルは表示されません。

最初に一覧表示したときは最大化表示されますが、任意の大きさにウィンドウサイズを変更できます。その後、再度一覧表示すると、前回のサイズで表示されます。プログラムを再起動すると、最大化表示されます。

Ch	タグ名	タグNo.	単位	アラーム1	種類	アラーム値	ヒステリシス	検出
A001	温度01		℃	Off				Off
A002	温度02		℃	Off				Off
A003	温度03		℃	Off				Off
A004	温度04		℃	Off				Off
A005	温度05		℃	Off				Off
A006	湿度01		%RH	Off				Off
A007	湿度02		%RH	Off				Off
A008	湿度03		%RH	Off				Off
A009	湿度04		%RH	Off				Off
A010	湿度05		%RH	Off				Off
A011								
A012								
A013								
A014								
A015								
A016								
A017								

次頁以降で説明する、「8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定」、「8. 1 アラーム On./Off の設定」は以下の違いがあります。

- 8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定（設定ボタン・送信ボタン）  
アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定が行えます。  
設定ボタンでアラームを Off に設定し送信ボタンで送信、再度 On に設定しようとする、設定画面の設定値は 0・リレーは None と表示されます。前回値に戻す場合は、入力しなければなりません。
- 8. 2 アラーム On./Off の設定（On/Off 設定ボタン・On/Off 送信ボタン）  
アラーム On/Off の設定のみ行えます。  
On/Off 設定ボタンでアラームを Off に設定し On/Off 送信ボタンで送信、再度 On に設定し On/Off 設定ボタンで送信すると、設定値・リレー情報は前回設定値に戻ります。

※On/Off 設定で Off から On に設定し、送信ボタンで送信するとエラーになります。  
On/Off のみを送信する場合は、On/Off 送信ボタンで送信して下さい。

## 8. 1 アラーム種類・設定値・リレー・ディレイ時間の設定

設定するチャンネルをダブルクリックするか、選択して設定ボタンをクリックすると、チャンネル単位の設定画面が表示されます。

チャンネルを選択するとき、複数チャンネルを選択すると、設定した内容が選択した全てのチャンネルに反映されます。チャンネル選択は、**Shift** キーや **Ctrl** キーを押しながら選択すると複数選択できます。

チャンネル一覧画面にはタグと単位も表示されますが、設定できるのは下記画面の項目のみです。設定値はレンジの範囲内でないと送信時にエラーになります。

	種類	アラーム値	ヒステリシス	検出	出力先
レベル 1	H: 上限	30	0.1	Off	None
レベル 2	T: デイレイ上限	25	0.1	Off	None
レベル 3	t: デイレイ下限	10	0.1	Off	None
レベル 4	L: 下限	5	0.1	Off	None

アラームディレイ  
0 : 0 : 10

各項目を設定しOKをクリックして下さい。

### ●アラーム種類

選択できる種類は、チャンネルのレンジモード及び演算チャンネルによって異なります。

### ●設定値

設定値は、チャンネルのレンジ範囲外の値を設定すると、送信時にエラーとなります。

### ●リレー

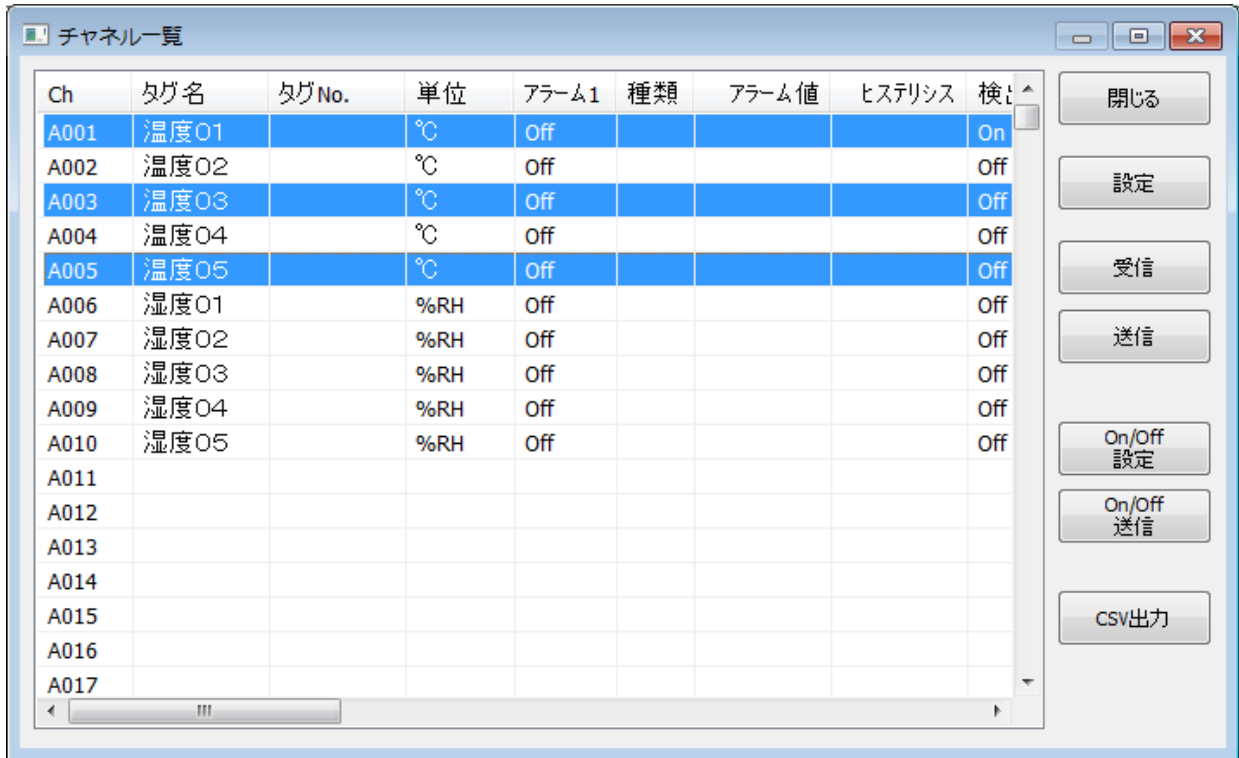
実際に GXGP に搭載されている出力リレー又は内部スイッチを選択して下さい。

### ●ディレイ時間

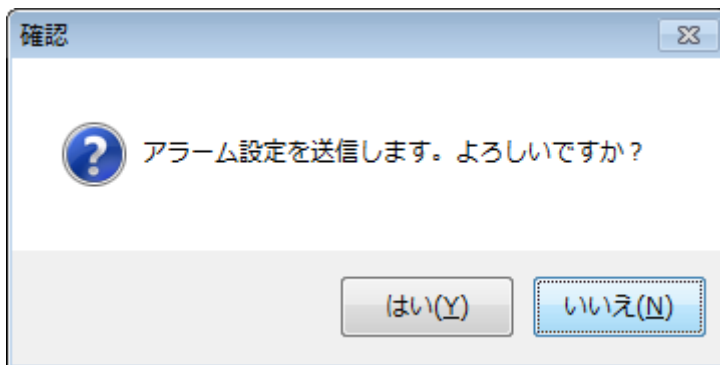
時：分：秒で設定して下さい。

チャンネル毎のアラーム設定が終了したら、送信するチャンネルを選択します。送信対象は、選択されているチャンネル（反転表示）のみです。

チャンネル選択は、Shift キーや Ctrl キーを押しながら選択すると複数選択できます。



送信チャンネルを選択したら、送信ボタンをクリックします。



確認後、GXGP に送信されます。

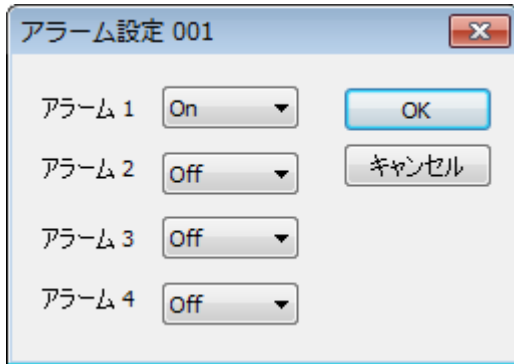
送信後に、再度 GXGP からアラーム設定情報を受信して一覧表示します。

## 8. 2 アラーム On/Off の設定

設定するチャンネルを選択して **Enter** キーを押下するか、選択して **On/Off** 設定ボタンをクリックすると、チャンネル単位の設定画面が表示されます。

チャンネルを選択するとき、複数チャンネルを選択すると、設定した内容が選択した全てのチャンネルに反映されます。チャンネル選択は、**Shift** キーや **Ctrl** キーを押しながら選択すると複数選択できます。

本機能では、アラームの **On/Off** のみが行えます。



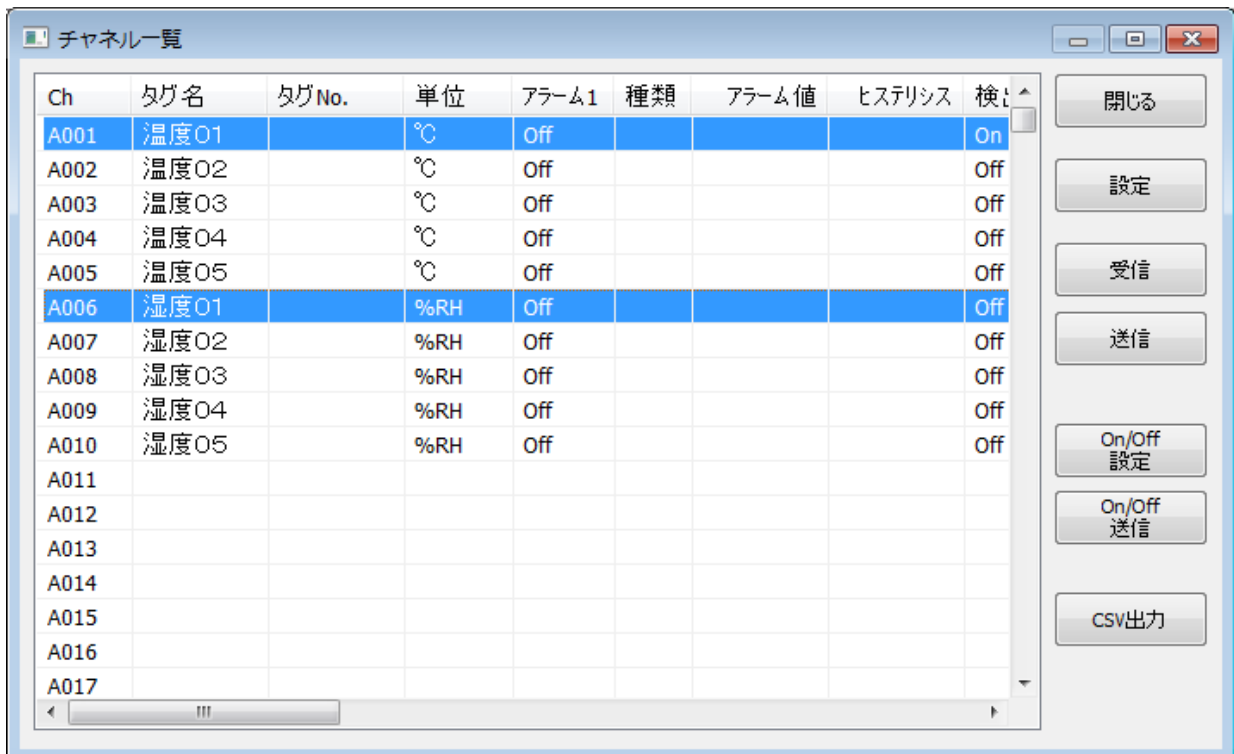
アラーム設定 001

アラーム 1	On	OK
アラーム 2	Off	キャンセル
アラーム 3	Off	
アラーム 4	Off	

On/Off を設定しOKをクリックして下さい。

チャンネル毎の **On/Off** 設定が終了したら、送信するチャンネルを選択します。送信対象は、選択されているチャンネル（反転表示）のみです。

チャンネル選択は、**Shift** キーや **Ctrl** キーを押しながら選択すると複数選択できます。

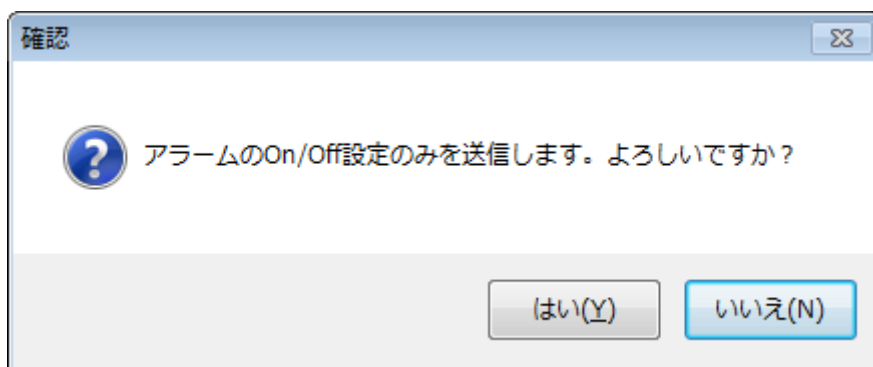


チャンネル一覧

Ch	タグ名	タグNo.	単位	アラーム1	種類	アラーム値	ヒステリシス	検出
A001	温度01		℃	Off				On
A002	温度02		℃	Off				Off
A003	温度03		℃	Off				Off
A004	温度04		℃	Off				Off
A005	温度05		℃	Off				Off
A006	湿度01		%RH	Off				Off
A007	湿度02		%RH	Off				Off
A008	湿度03		%RH	Off				Off
A009	湿度04		%RH	Off				Off
A010	湿度05		%RH	Off				Off
A011								
A012								
A013								
A014								
A015								
A016								
A017								

右側ボタン: 閉じる, 設定, 受信, 送信, On/Off 設定, On/Off 送信, CSV出力

送信チャンネルを選択したら、On/Off 送信ボタンをクリックします。



確認後、GXGP に送信されます。

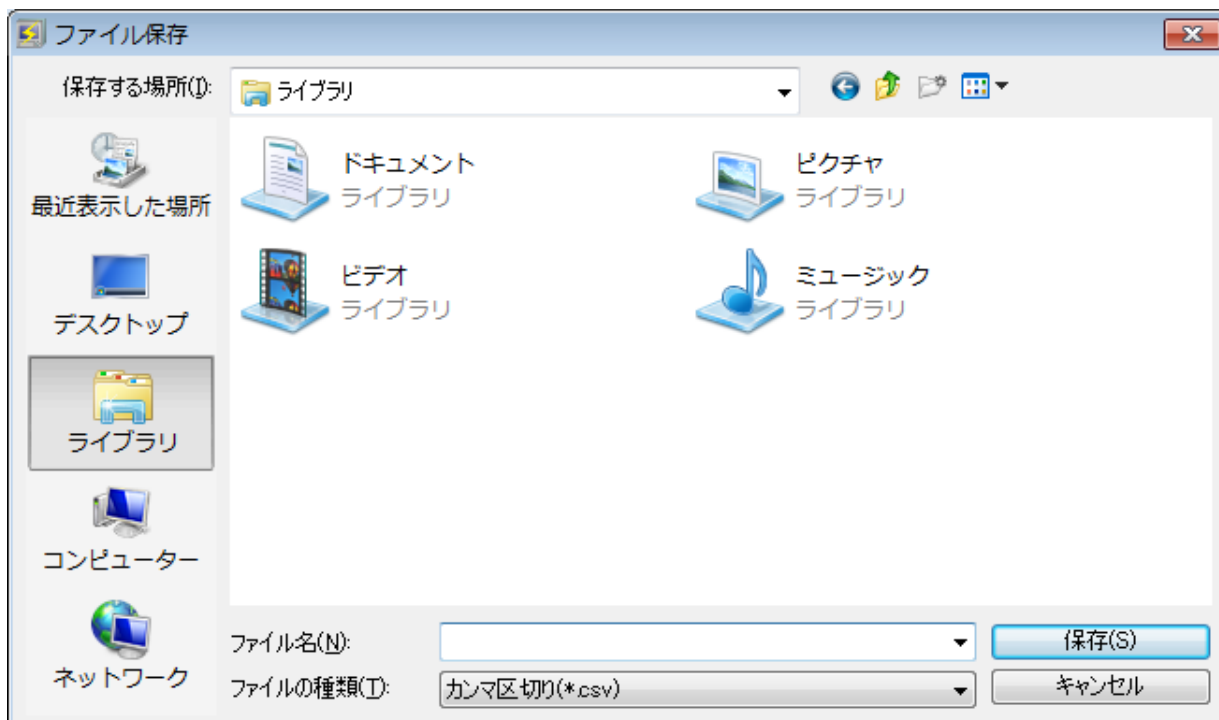
送信後に、再度 GXGP からアラーム設定情報を受信して一覧表示します。

本機能では、アラームが設定されているチャンネルに Off を設定、再度 On に戻した場合、前回の設定値・リレー情報に戻ります。



### 8. 3 CSV 出力

チャンネル一覧画面で CSV 出力ボタンをクリックすると、一覧の項目を CSV 出力することができます。



ファイル名を指定して保存して下さい。  
形式は、CSV 又は TXT です。

## 9. 記録開始

メイン画面の記録開始ボタンをクリックすると記録開始画面が表示されます。

機能メニューの「記録開始」も同機能です。

画面は、GXGP のオプションにより異なります。

下記画面は、演算オプション有り・マルチバッチ有り・バッチ有効の場合の画面です。

※以降の説明で、画面のバッチグループの項目は、マルチバッチオプションがある場合のみ表示されます。

また、演算関連ボタンは演算オプションがある場合のみ、バッチ関連項目はバッチ有効の場合のみ表示されます。

記録開始

記録+演算 記録+演算(リセット) 記録 閉じる

バッチ番号  ロット番号  バッチグループ

コメント

番号	文字列
1	
2	
3	

テキストフィールド

番号	タイトル	文字列
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

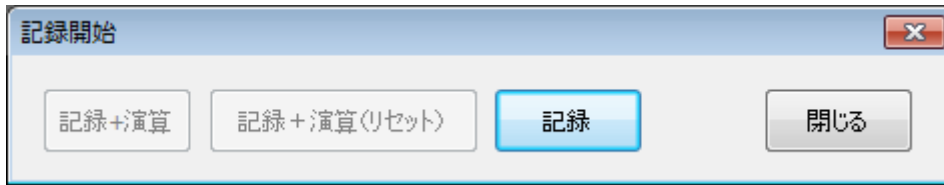
いずれかの記録開始ボタンをクリックすると、確認画面後、記録（演算及びリセット）が開始されます。

確認

？ 記録と演算を開始します。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

下記画面は、演算オプション無し・マルチバッチ無し・バッチ無効の場合の画面です。



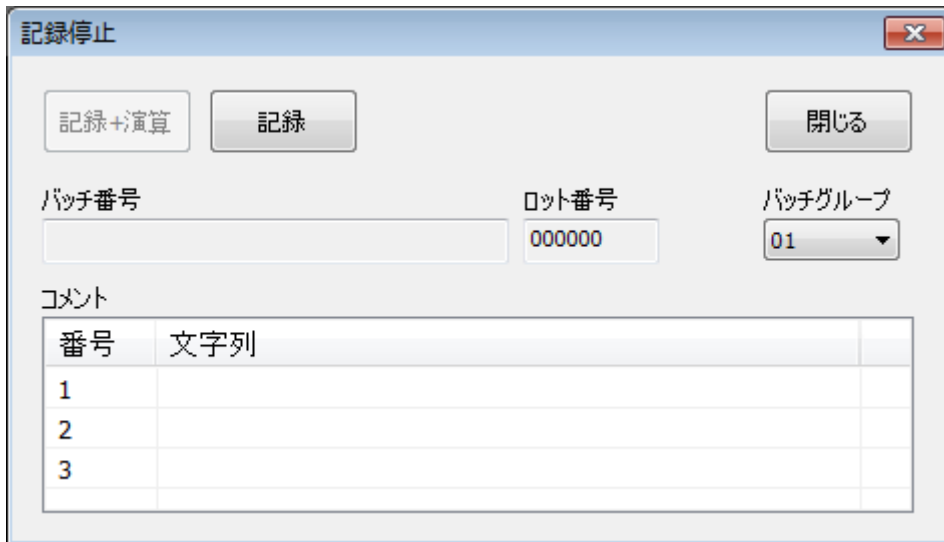
## 10. 記録停止

メイン画面の記録停止ボタンをクリックすると記録停止画面が表示されます。

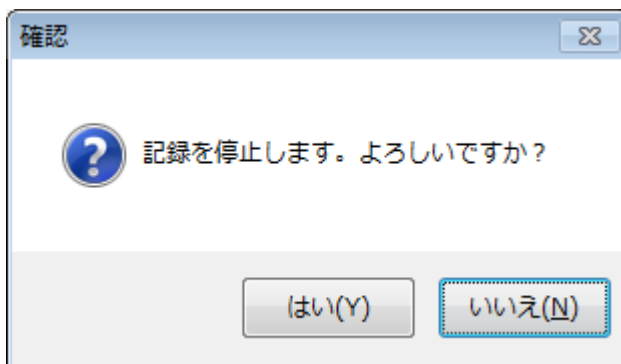
機能メニューの「記録停止」も同機能です。

画面は、GXGP のオプションにより異なります。

下記画面は、演算オプション有り・マルチバッチ有り・バッチ有効の場合の画面です。



いずれかの記録停止ボタンをクリックすると、確認画面後、記録（及び演算）が停止されます。



下記画面は、演算オプション無し・マルチバッチ無し・バッチ無効の場合の画面です。



## 11. メッセージ

メイン画面のメッセージボタンをクリックすると、GXGP に設定されているメッセージを受信して一覧表示します。機能メニューの「メッセージ」も同機能です。

番号	メッセージ
1	霜取り開始
2	霜取り終了
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

閉じる

登録

更新

表示グループ  
オール

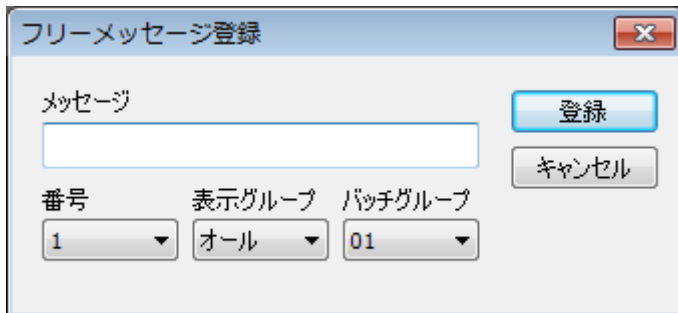
バッチグループ  
01

メッセージを選択して登録ボタンをクリックすると、画面（トレンド）にメッセージが書き込まれます。登録ボタンは記録中のみ有効、更新ボタンは記録停止中のみ有効です。

記録していないときは、メッセージをクリックすると編集可能になります。編集後更新ボタンをクリックすると、GXGP に設定されているメッセージを更新します。グループは、どのグループにメッセージを書き込むかを指定して下さい。

## 12. フリーメッセージ

メイン画面のフリーメッセージボタンをクリックすると、フリーメッセージ登録画面が表示されます。機能メニューの「フリーメッセージ」も同機能です。



The screenshot shows a dialog box titled "フリーメッセージ登録" (Free Message Registration). It contains a text input field labeled "メッセージ" (Message) with a "登録" (Register) button to its right. Below the input field are three dropdown menus: "番号" (Number) with "1" selected, "表示グループ" (Display Group) with "オール" (All) selected, and "バッチグループ" (Batch Group) with "01" selected. A "キャンセル" (Cancel) button is located below the "登録" button.

番号を選択し、メッセージを入力してOKボタンをクリックすると、画面（トレンド）にメッセージが書き込まれます。グループは、どのグループにメッセージを書き込むかを指定して下さい。

## 13. バッチ

メイン画面のバッチボタンをクリックすると、バッチ情報入力画面が表示されます。  
機能メニューの「バッチ」も同機能です。

バッチ

バッチ番号

ロット番号

バッチグループ

閉じる

登録

コメント

番号	文字列
1	
2	
3	

テキストフィールド

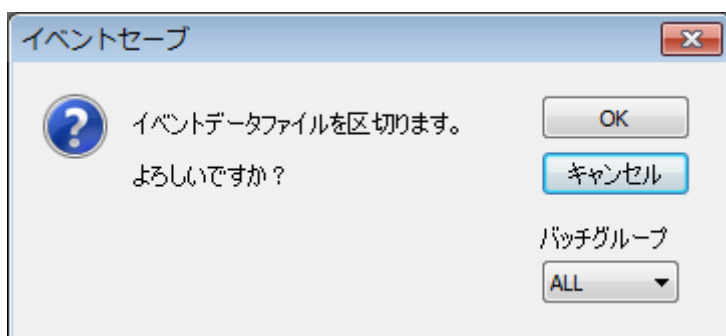
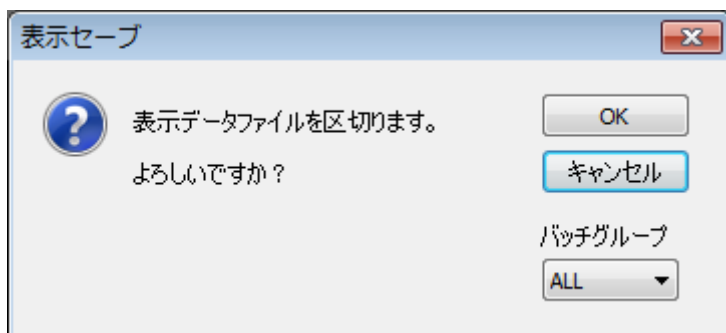
番号	タイトル	文字列
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

各項目を入力してOKボタンをクリックすると、GXGPにバッチ情報が設定されます。  
メモリスタートしている場合は、コメントのみ設定できます。テキストフィールドは、記録停止中のみ登録  
できます。

GXGPがバッチ機能OFFになっていると設定できません。

## 14. 表示セーブ・イベントセーブ

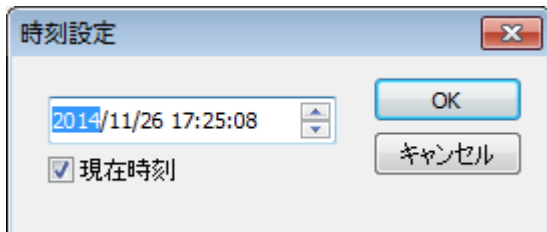
機能メニューの「表示セーブ」又は「イベントセーブ」を選択して下さい。  
記録データが表示データの時にイベントセーブは実行できません。その逆も同様です。



この機能を実行すると、ファイルが区切られて記憶メディアに保存されます。  
また、FTP クライアント設定がされていれば FTP 転送されます。

## 15. 時刻設定

機能メニューの「時刻設定」を選択して下さい。



時刻を設定してOKボタンをクリックすると、GXGPに時刻が設定されます。

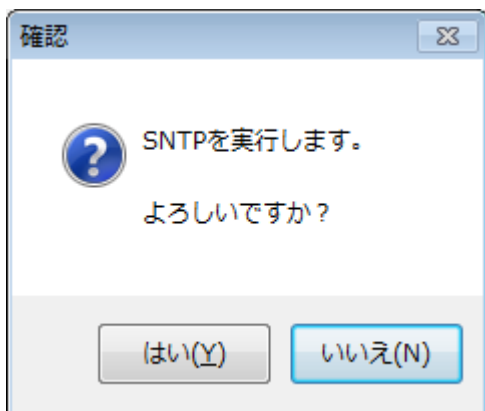
現在時刻をチェックすると、PCの時刻を設定します。

記録中の時は、徐々に時刻調整されます。記録停止中の時は、即時に時刻変更されます。

記録中に時刻設定する場合、GXGPに設定されている徐々に修正する限界値を超える時差があるときはエラーとなります。

## 16. SNTP時刻調整

機能メニューの「SNTP時刻調整」を選択して下さい。



GXGPに設定されているSNTPクライアント設定の内容に従って時刻調整を行います。

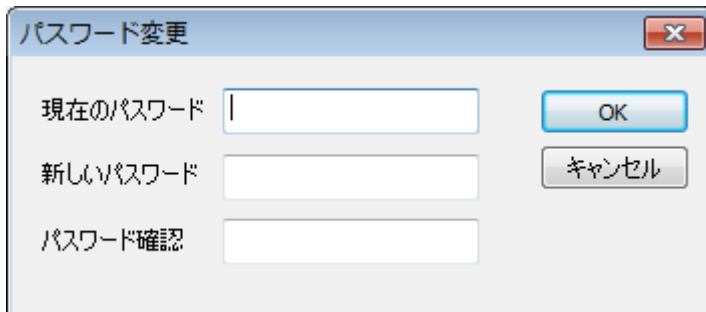
記録中の時は、徐々に時刻調整されます。記録停止中の時は、即時に時刻変更されます。

記録中に時刻設定する場合、GXGPに設定されている徐々に修正する限界値を超える時差があるときはエラーとなります。



## 17. パスワード変更

機能メニューの「パスワード変更」を選択すると、パスワード変更画面が表示されます。変更できるのは、ログインしているユーザーのパスワードです。

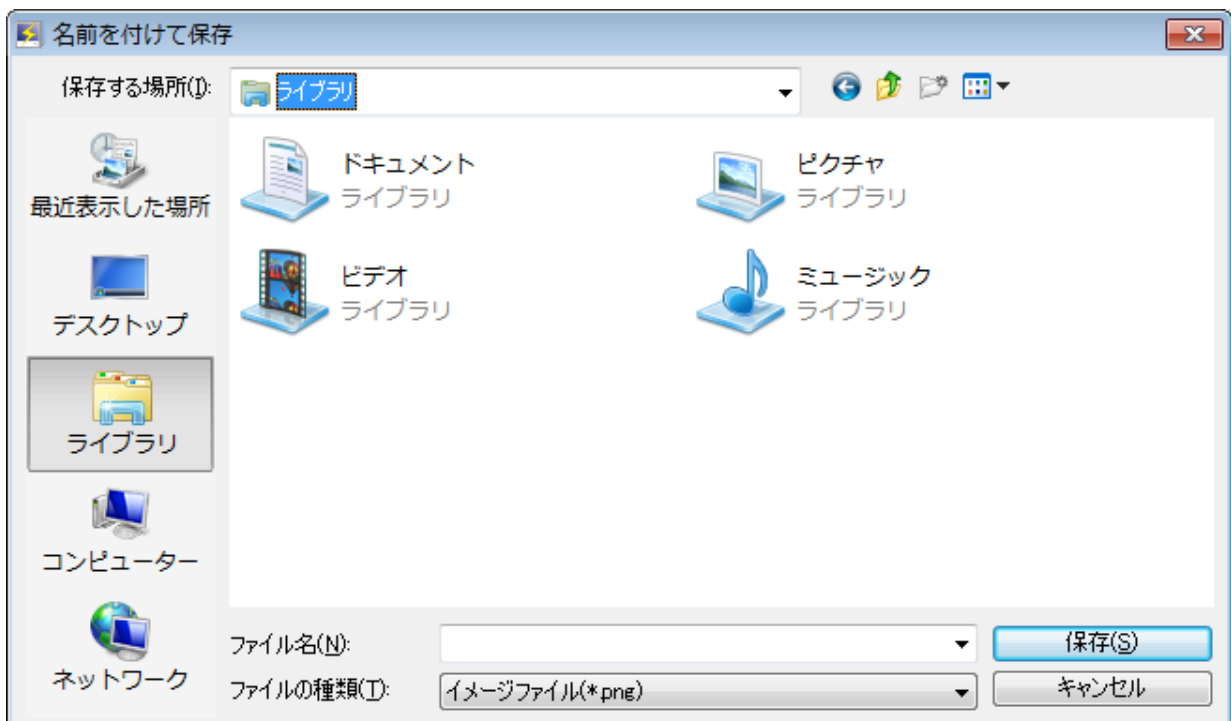


The screenshot shows a dialog box titled "パスワード変更" (Change Password). It contains three input fields: "現在のパスワード" (Current Password), "新しいパスワード" (New Password), and "パスワード確認" (Confirm Password). To the right of the first field is an "OK" button, and to the right of the second field is a "キャンセル" (Cancel) button.

各パスワードを入力して下さい。  
同じパスワード、初期パスワードに変更することはできません。

## 18. イメージ保存

機能メニューの「イメージ保存」を選択すると、ファイル保存画面が表示されます。表示している GXGP のスナップショットを保存できます。拡張子は PNG です。



The screenshot shows a "名前を付けて保存" (Save As) dialog box. The "保存する場所(D):" (Save in) dropdown is set to "ライブラリ" (Library). The main area displays a grid of library folders: "ドキュメント ライブラリ" (Documents Library), "ピクチャ ライブラリ" (Pictures Library), "ビデオ ライブラリ" (Videos Library), and "ミュージック ライブラリ" (Music Library). The left sidebar shows navigation options: "最近表示した場所" (Places shown recently), "デスクトップ" (Desktop), "ライブラリ" (Library), "コンピューター" (Computer), and "ネットワーク" (Network). At the bottom, the "ファイル名(N):" (File name) field is empty, and the "ファイルの種類(T):" (File type) dropdown is set to "イメージファイル(\*.png)". The "保存(S)" (Save) and "キャンセル" (Cancel) buttons are visible.

## 19. 最新に更新

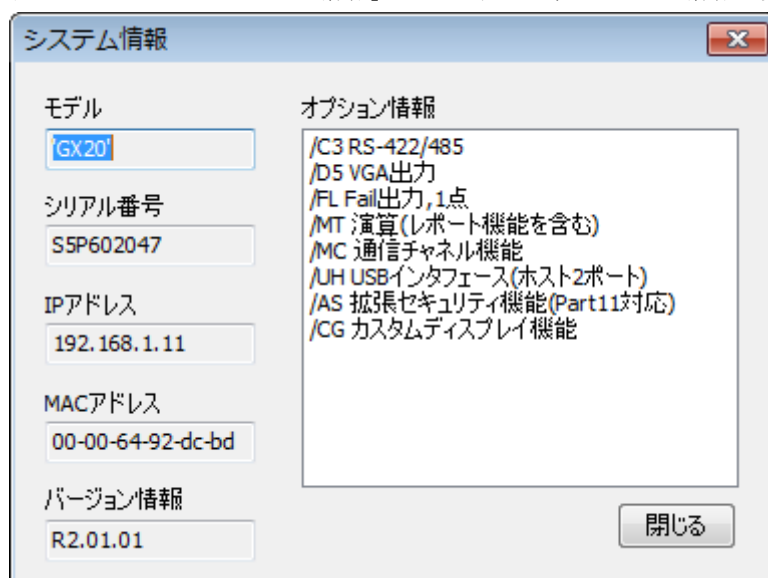
表示メニューの「最新に更新」を選択すると、スナップショットが更新されます。  
F5 キーでも同様です。

## 20. 自動更新

表示メニューの「自動更新」を選択すると、15 秒間隔でスナップショットが自動更新されます。  
もう一度選択すると、自動更新をストップします。

## 21. システム情報

表示メニューの「システム情報」を選択すると、GXGP の情報を受信して表示します。



The screenshot shows a dialog box titled "システム情報" (System Information) with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into two main sections: "モデル" (Model) and "オプション情報" (Option Information). The "モデル" section contains five text input fields: "モデル" (GX20), "シリアル番号" (S5P602047), "IPアドレス" (192.168.1.11), "MACアドレス" (00-00-64-92-dc-bd), and "バージョン情報" (R2.01.01). The "オプション情報" section is a large text area containing a list of options: "/C3 RS-422/485", "/D5 VGA出力", "/FL Fail出力,1点", "/MT 演算(レポート機能を含む)", "/MC 通信チャンネル機能", "/UH USBインターフェイス(ホスト2ポート)", "/AS 拡張セキュリティ機能(Part11対応)", and "/CG カスタムディスプレイ機能". A "閉じる" (Close) button is located at the bottom right of the dialog.

項目	値
モデル	GX20
シリアル番号	S5P602047
IPアドレス	192.168.1.11
MACアドレス	00-00-64-92-dc-bd
バージョン情報	R2.01.01

オプション情報

- /C3 RS-422/485
- /D5 VGA出力
- /FL Fail出力,1点
- /MT 演算(レポート機能を含む)
- /MC 通信チャンネル機能
- /UH USBインターフェイス(ホスト2ポート)
- /AS 拡張セキュリティ機能(Part11対応)
- /CG カスタムディスプレイ機能

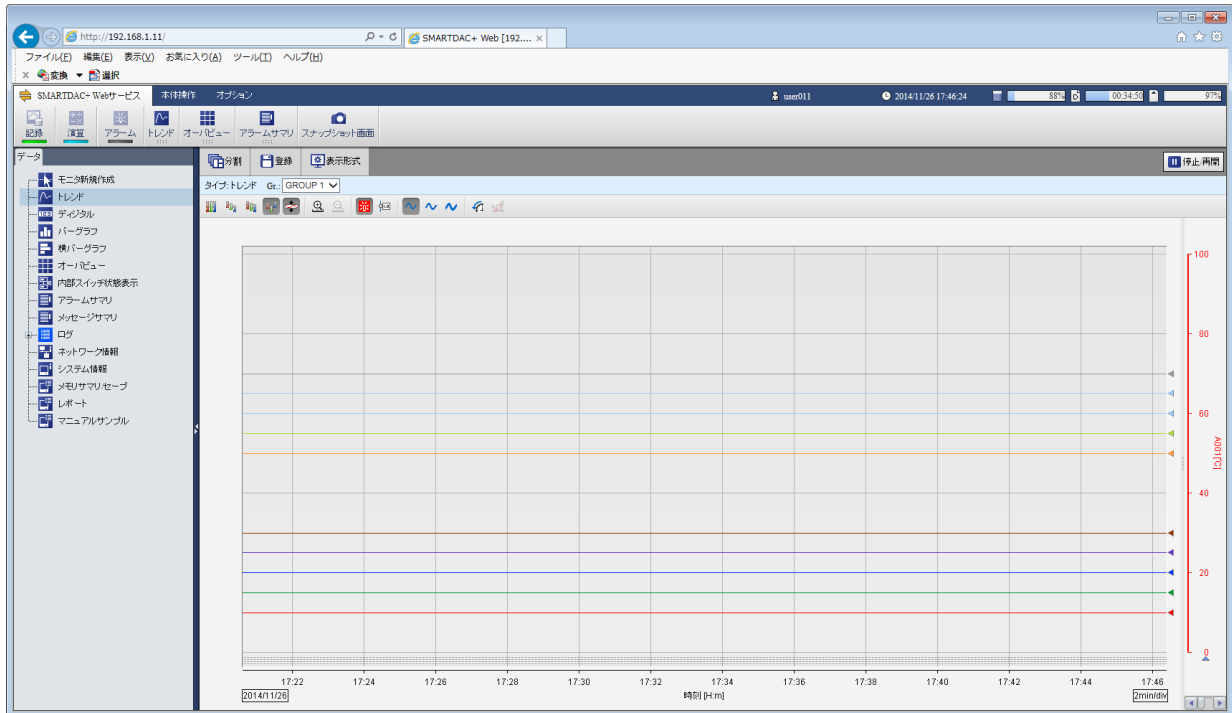
閉じる

## 22. WEB 表示

表示メニューの「WEB 表示」を選択すると、GXGP を WEB 表示します。

本機能は、GXGP の HTTP サーバー機能が ON の場合のみ行えます。

ブラウザでユーザー名・パスワードの入力（ユーザーレベル Monitor）が必要です。

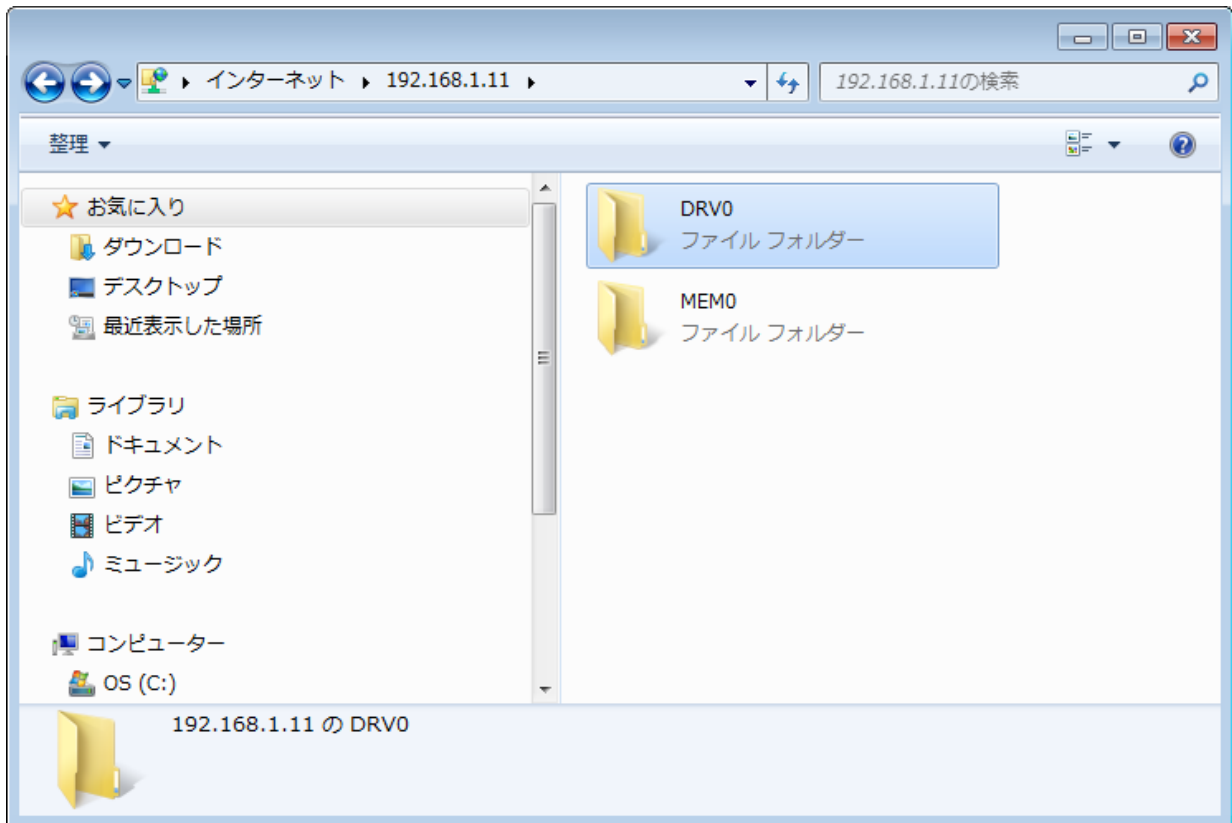


ブラウザでの操作方法は GXGP のマニュアルを参照下さい。

## 23. FTP 表示

表示メニューの「FTP 表示」を選択すると、GXGP の記憶メディアの内容をエクスプローラーで表示します。本機能は、GXGP の FTP サーバー機能が ON の場合のみ行えます。

エクスプローラーでユーザー名・パスワードの入力（ユーザーレベル Monitor）が必要です。



ファイルの内容については GXGP のマニュアルを参照下さい。

## 24. バージョン情報

バージョン情報を参照するには、メイン画面のタイトルバーのアイコンをクリックして表示されるメニューか、ヘルプメニューから「バージョン情報」を選択して下さい。

